

# 令和5年度 東久留米市立第六小学校 グランドデザイン

第六小の目指す教育 「次代に生きる子供を育てる」  
【学校教育目標】 ◎考える子 助け合う子 元気な子

～今後の社会において求められる力～  
○何が重要であるかを主体的に判断できること  
○多様な人々と協働することができること  
○新たな問題の発見・解決につなげることができること

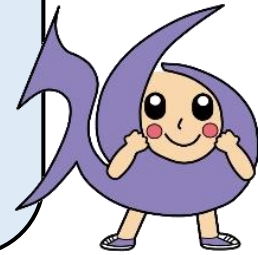
## 子供の感性を磨く 教職員の感性を磨く

### ★教職員の強み★

- 「子供にとってどうか」が判断基準
- 団結力
- 率先垂範

### 【期待する教師・大人像】

- 1 子供の心を敏感に察しようとする。
- 2 子供を柔軟な見方で見ようとする。
- 3 子供と焦らず接しようとする。
- 4 子供に期待をもって関わろうとする。
- 5 子供を素直に見ようとする。
- 6 子供に温かい関心を持とうとする。
- 7 子供と共に歩もうとする。
- 8 子供一人一人の身になって考えようとする。
- 9 子供の良いモデルになろうとする。
- 10 子供に時として厳しく接しようとする。



## ともに生きる喜びを

### 「ダイバーシティとインクルージョンの推進」(学校 2020 レガシー)

- 人権教育、道徳教育の推進「信頼関係づくり」
- ・自尊感情や自己肯定感の醸成につながる価値づけ、子供一人一人が認められ生かされる活動の場や機会の設定、互いのよさを認め合う学級づくり
- いじめ防止
- ・自他の生命を尊重し、いじめや暴力、差別や偏見のない学校づくり
- ・「いじめを許さない」意識をもち、いじめ根絶に向け主体的に行動する児童の育成
- ・いじめ対策防止委員会による組織的な対応教育相談的手法によるいじめや虐待、問題行動の早期発見、対応
- ・保護者・地域への情報発信と協力体制の構築
- 特別活動の充実
- ・子供が主体となる必然性のある活動、子供が考え、行動できる場の設定
- ・話し合い活動を通して、主体的によりよい生活を目指す能力と態度の育成
- ・異年齢集団活動による社会性と連帯感の育成
- 特別支援教育の充実(インクルーシブ教育の推進)
- ・全校で、分かりやすい板書、学習のルールへの掲示、ICT活用等、子供一人一人の教育的ニーズに応じた配慮や支援、安心して学べる学級づくり
- ・特別支援教室巡回指導教員、難聴言語学級教員による理解啓発授業を実施し、6年間を通して「ともに生きる」仲間としての意識の育成
- ・互いに授業を見合い、子供一人一人にあった手立て等を学ぶ教員の研修会の実施(相互授業参観期間の設定)
- 生活指導の充実
- ・組織的、計画的な生活指導の実施、
- ・「六小6つの『あ』」で、基本的な生活習慣の定着(六小の伝統を引き継ぐ)
- ・学習規律やルールを全校で共通理解、共通指導
- ・生活指導全体会や夕会で情報共有を図る
- ・特支コーディネーター、SC、外部機関と連携しいじめ、不登校、問題行動への対応

### 【目指す学校像】

- 明日の登校を楽しみにする子供のあふれる学校
- 明日の出勤を楽しみにする教職員のあふれる学校
- 来校することを楽しみにする保護者・地域の方があふれる学校

合言葉は  
「笑顔かがやく六小の子  
みんなで育てる六小の子  
みんなが育つ第六小学校」

## 分かる、学び続ける喜びを

### 「考える、調べる、書く、話す、関わる必然性のある授業を仕掛ける」

- 「学習意欲の喚起と持続」のある授業、「学び方」を「学ぶ」授業の構築
- ・教育のユニバーサルデザインの積極的な導入
- ・各教科の特性に応じた体験的な学習・問題解決的な学習
- ・個に応じた学びと協働的な学びを往還させた授業
- ・各教科等での言語活動の充実(自分の考えを書き、発表する、説明する)
- ・自分の考えをもち、双方向の話し合いのある授業
- ・一人一台端末を活用し、Society5.0 時代を生きる子供たちに必要な言語能力、情報活用能力、問題発見、解決能力の育成
- ・教科横断的な視点でのカリキュラムの編成、効果的で効率的な指導
- 学習内容の確実な定着と学習意欲の向上
- ・週3日朝学習(国語2回、算数1回)の実施
- ・「放課後タイム」の実施
- 家庭学習の充実と習慣化
- ・教師の励ましと一人一人の実態に応じた指導(学年×10+10分の実施)
- ・「六小 自主学習の手引き」の配付と家庭と連携した実践
- 校内研究「主体的・対話的で深い学びのある授業づくり」
- ・児童の実態調査の実施、調査結果の分析に基づいた授業実践
- ・問題解決的な学習、体験的な学習等を学習展開に位置付けた授業実践
- ・個々の学習状況、成長の様子を見取り、認め励まし根拠に基づいた評価の実施
- ・授業力向上のための相互授業参観期間の設定・実施
- キャリア・アントレプレナーシップ教育
- ・望ましい人間関係を築く力、課題に対応する力、社会に貢献する態度の育成
- ・自らの生き方(夢や希望)について考えるなど生き方を追究する力の育成
- デジタル・シティズンシップ教育
- ・一人一台端末や ICT 機器を活用したプログラミング的思考の育成
- ・アンプラグドプログラミング学習の実施
- ・発達段階に応じたスキルの育成
- ・自律的にデジタル社会に関わっていく力の育成
- 総合的な学習の時間
- ・児童の問題意識に基づく問題設定、体験的・探究的な学習
- ・ESD が目指す力、態度、非認知能力の育成
- ・地域の特色や人材を活用した教育活動の充実(人材バンクの作成、活用)
- 外国語活動・外国語科
- ・話す必然性のある課題、実践的なコミュニケーションの場の設定
- ・各学期1回のパフォーマンステストの実施

## 次代につなぐ学びの創造

## たくましく生きる喜びを

- 危機対応能力の向上「自分の命は自分で守る」
- ・安全、安心な環境づくりと自他の命を大切に教育の充実
- ・危険予測能力と危機回避能力の育成
- ・安全指導、避難訓練等の実施方法の工夫と家庭と連携した実践
- ・安全対策の徹底による学校内外での事故防止
- よりよい生活習慣の育成
- ・「生活リズムカレンダー」の活用と家庭と連携した実践
- 健康な体の育成
- ・年間を通してすすんで体力向上に取り組むための活動の工夫(なわ跳び、マラソン等)
- ・朝、中休み、昼休みの外遊びの奨励
- ・お菓子の教室やがん教育、保健指導などによる健康増進の習慣の育成
- ・給食指導と連動した食育の推進・地域人材や環境を活用した魅力ある授業づくり

## 効果的な組織運営

- 教職員としての資質向上「専門職としての誇りをもつ」
- ・校内研究の充実
- ・授業力向上のための相互授業参観期間の設定・実施
- ・OJTの推進、OFF-JTによる授業力、指導力の向上
- ・ライフワークバランスを推進し、感性を磨き、教育活動へ反映
- 組織的な学校運営
- ・意思決定システムの遵守と報告・連絡・相談の徹底
- ・分掌、学年会の充実(共通認識・実践、協力)
- 持続可能な教育活動のための校務改善
- ・R-DCAPの励行による校務の見直しと改善
- ・勤務時間を意識した校務の効率化、省力化
- ・教職員、分掌による創意工夫と改善案の提示
- 服務規律の徹底
- ・法令等の遵守(個人情報管理、体罰等)
- 保護者・地域との連携
- ・人材バンクの作成、活用によるCSの推進
- ・積極的な情報発信による理解・啓発の促進と協働体制の構築(各種便り、HP、学校公開、保護者会)